

“道の駅「とよはし」”開駅後半年の 利用実態について

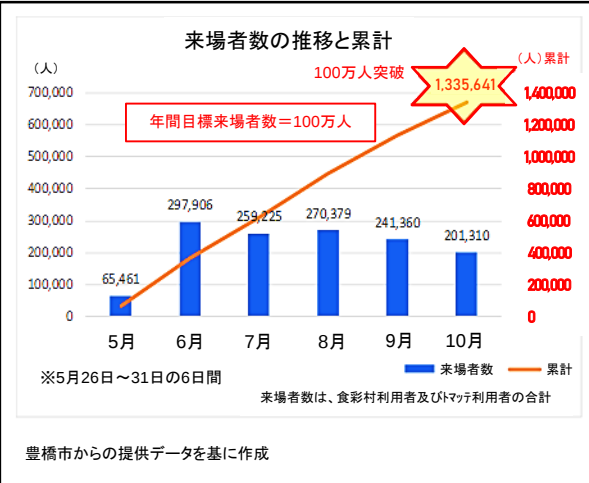
名古屋国道事務所
豊橋市

道の駅「とよはし」は、令和元年5月26日に開駅し、半年後に

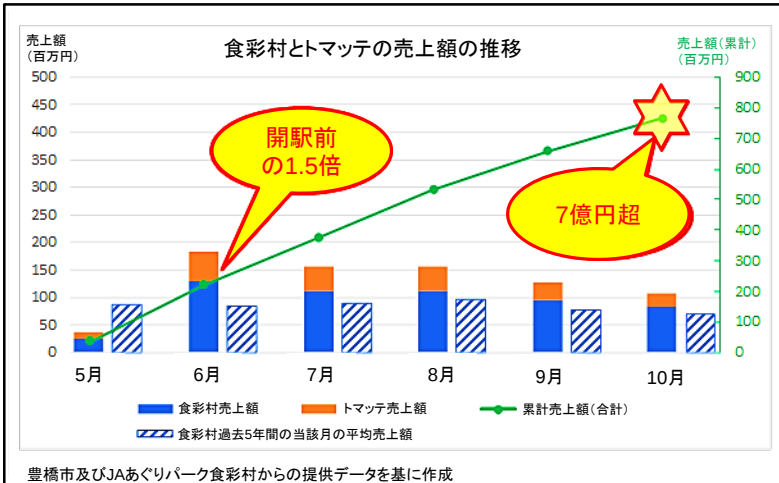
- ①年間目標の来場者数100万人を約5ヶ月で突破
- ②道の駅全体の売上額は、7億円超え
- ③JAあぐりパーク食彩村※1では、開駅前の1.5倍の売り上げを記録

※1 道の駅内のJA運営施設

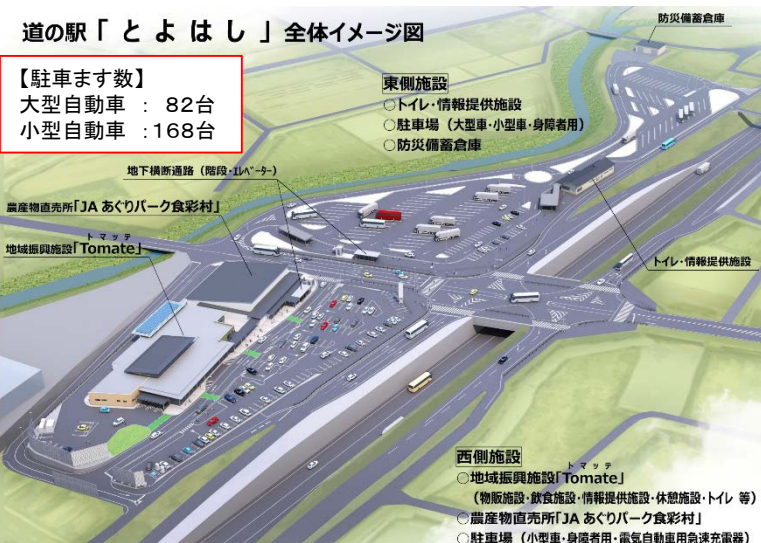
■来場者数の推移



■売上額の推移



多くの道路利用者が道の駅を利用していることから、整備効果を把握するために、利用実態や満足度について、アンケート調査を実施した。



撮影日：
(開駅直前)
令和元年
5月13日



撮影日：
(開駅直前)
令和元年
5月13日

調査方法:ヒアリング調査 令和元年9月26日(木)、10月6日(日)

- ◆ 施設利用者を対象に、ヒアリングシートを基に聞き取り方式で実施
- ◆ ヒアリングシートは大型車ドライバーと小型車ドライバーの2種類を作成
- ◆ 聞き取り内容は、利用目的・時間・回数、利用した感想、開駅前の休憩場所 など

調査結果:安全で効率的な輸送による**ドライバーの負担軽減**に寄与

- ◆ 道の駅を利用することで疲労回復やストレス解消につながっている
- ◆ 渋滞回避、定時性確保のため、道の駅を輸送の時間調整で利用している

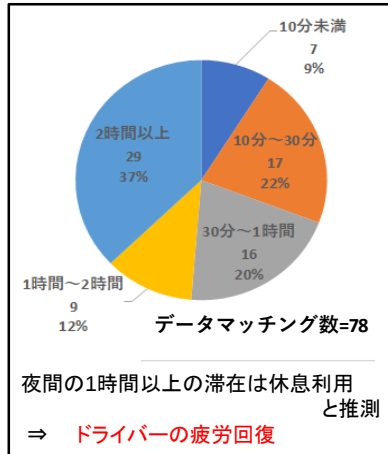
【大型車利用者(平日52人、休日15人)にヒアリング】

■利用者アンケート結果(大型車)



- 他場所で休憩が多数 ⇒ 休憩場所の選択肢が増
「路肩で休憩」 ⇒ 路肩駐停車による危険を回避
「休憩しない」 ⇒ ドライバーの疲労回復
- 疲れが取れる ⇒ ドライバーの疲労回復
トイレ我慢が不要 ⇒ ドライバーのストレス解消
時間調整ができる ⇒ 輸送の効率化

■夜間滞在時間(大型車/平日)

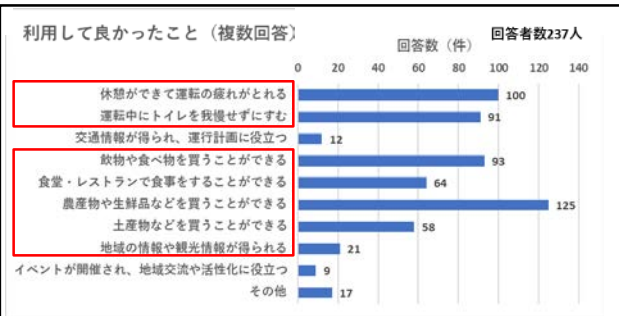


調査結果:多様なニーズに応えられる**魅力ある施設**により賑わいの場を創出

- ◆ 道の駅利用者は豊橋市内のみならず、休日には遠方からの利用者も多く見られる
- ◆ 利用して良かったことでは、道の駅の目的である「休憩」「情報提供」に加え、「食事」「買い物」も多く占める

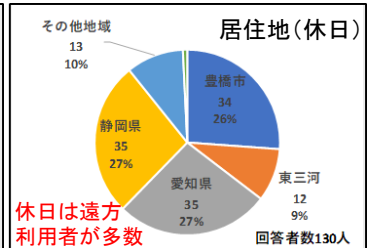
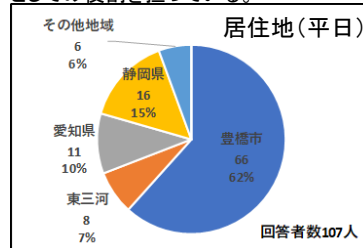
【小型車利用者(平日107人、休日130人)にヒアリング】

■利用して良かったこと(小型車)



■利用者の居住地

平日は地元の利用者が多く、休日は広域からの集客が確認でき、地域振興の拠点としての役割を担っている。



Tomateの賑わい状況



食彩村の賑わい状況



駐車場の利用状況(大型車)



駐車場の利用状況(小型車)